

平成28年度(2016年度)診療報酬改定率等

【診療報酬改定率等】

(1) 診療報酬本体 +0.49% (国費換算 +500億円程度)

各科改定率	医科	+0.56%
	歯科	+0.61%
	調剤	+0.17%

(2) 薬価等 (国費換算 ▲1,300億円程度)

① 薬価 ▲1.22% (国費 ▲1,200億円程度)

※上記のほか外枠を設ける

- ・市場拡大再算定による薬価の見直し
- ・年間販売額が巨額な品目(1000億円超)に対する特例市場拡大再算定による薬価の見直し
- ・いわゆる大型門前薬局等の調剤報酬の適正化
- ・入院医療における経腸栄養用製品の入院時食事療養費等給付の適正化
- ・湿布薬の1処方当たりの枚数制限など

② 材料価格 ▲0.11% (国費 ▲100億円程度)

実質は過去
3番目に厳しい
改定率

+0.49%
▲1.22%
▲0.11%
▲0.19%
▲0.28%
▲1.31%

診療報酬改定率(医療費ベース)の推移

年号		平均	医科	歯科	調剤	薬価(薬価ベース)	材料
1992年	H4年	5.0%	5.4%	2.7%	1.9%	▲2.4%(▲8.1%)	▲0.1
1994年4月	H6年4月	4.8%	5.2%	2.3%	2.1%	▲2.0%(▲6.6%)	▲0.1
1994年10月	H6年10月	1.5%	1.7%	0.2%	0.1%		
1996年	H8年	3.4%	3.6%	2.2%	1.3%	▲2.5%(▲6.8%)	▲0.1
1997年	H9年	合理化分0.93% (消費税分0.32%)	0.99% (0.32%)	0.32% (0.43%)	1.00% (0.15%)	▲1.27%(▲4.4%) (0.45%)	▲0.05
1998年	H10年	1.5%	1.5%	1.5%	0.7%	▲2.7%(▲9.7%)	▲0.1
2000年	H12年	1.9%	2.0%	2.5%	0.8%	▲1.6%(▲7.0%)	▲0.1
2002年	H14年	▲1.3%	▲1.3%	▲1.3%	▲1.3%	▲1.3%(▲6.3%)	▲0.1
2004年	H16年	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	▲0.9%(▲4.2%)	▲0.1
2006年	H18年	▲1.36%	▲1.5%	▲1.5%	▲0.6%	▲1.6%(▲6.7%)	▲0.2
2008年	H20年	0.38%	0.42%	0.42%	0.17%	▲1.1%(▲5.2%)	▲0.1
2010年	H22年	1.55%	1.74%	2.09%	0.52%	▲1.23%(▲5.75%)	▲0.13
2012年	H24年	1.379%	1.55%	1.70%	0.46%	▲1.26%(▲6.0%)	▲0.12
2014年	H26年	0.73% (消費税分0.63%)	0.82% (0.71%)	0.99% (0.87%)	0.22% (0.18%)	▲0.58%(▲2.65%) (0.64%) (2.99%)	▲0.05 (0.09%)
2016年	H28年	0.49%	0.56%	0.61%	0.17%	▲1.22%(▲5.57%) ↓市場拡大再算定分 ▲0.19%(▲0.9%) ↓特例市場拡大再算定 ▲0.28%(▲1.3%)	▲0.11%

平成28年度薬価改定以外の財源等

外枠

- 薬価の特例市場拡大再算定（医療費ベース▲0.28%、国費▲280億円）

1,000億円超1,500億円以下
かつ
予想販売額の5割増し以上

薬価最大
25%引下げ

1,500億円超
かつ
予想販売額の3割増し以上

薬価最大
50%引下げ

外枠

- 薬価の市場拡大再算定（医療費ベース▲0.19%、国費▲200億円）

- その他薬価関連

- (1) 新規収載の後発医薬品の薬価引き下げ（×0.5ルール、10品目以上は×0.4）
- (2) 後発品置き換えが進まない長期収載医薬品の特例的引下げ（▲約20億円）
- (3) いわゆる大型門前薬局等の調剤報酬の適正化（▲約40億円）
- (4) 入院医療における経腸栄養用製品の入院時食事療養費等の給付の適正化（▲約40億円）
- (5) 湿布薬の1処方当たりの枚数（70枚）制限など（▲約30億円）

診療報酬等の改定率の推移 [1997~2016]

各年厚労省資料を基に作成 [医療費ベース 単位(%)]

